

令和6年産「ゆめかおり」栽培講習会を開催

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。

「ゆめかおり」の生産規模の拡大と品質維持に向け、10月19日に「茨城パン小麦栽培研究会」と共催で令和6年産に向けた栽培講習会を開催し、生産者21名および県関係機関11名の合計32名が参加しました。

普及センターより、令和5年産の収量や品質、発生が多かった規格外や赤かび病への対策について説明し、集出荷を行う茨城パン小麦栽培販売有限責任事業組合から、現在の販売状況や集出荷で生じた問題点について説明がありました。また、会員の栽培技術向上のため、優良生産者2名の栽培事例を研究会内で共有し、最後に、農業研究所から、高タンパクを実現する肥培管理の確立に向けた現在の試験内容について情報提供がありました。

参加者は優良生産者の栽培方法について特に関心が高く、栽培方法の詳細な内容を求める声や自身の栽培方法に助言を求める声等、活発な意見交換が行われました。

普及センターでは、高品質安定生産を目指して、関係機関と連携し、引き続き支援に取り組んでいきます。

令和5年10月24日 坂東地域農業改良普及センター 松井匠（成長産業）

